



地域に根ざし、世界に開く

コラボ通信

学生スタッフ作成号！

第57号

2023年12月17日

CCC (コミュニティ・コラボレーションセンター) とは・・・

学生が学外で生きた学びを得られるように支援する教育機関です。地域、社会、世界の人々と出会い、協働することで、大学で学んだ知識を活かしたものにしていけるようサポートしています。これまでに、多くの学生がCCCを通して地域に飛び出し、NPOや市民団体、企業などと連携して共に活動しています。

皆さん、ぜひ、CCCに1度足を運んでみてください☆

コロナ禍が終息へと向かい、
今年から対面でのボランティアや
たくさんの方々と交流することができる
世界がやっと戻ってきました！

今回は、そんな変化する社会の中での
活動や想いを聞いてみました！



わたしたち学生の

脳内メーカー!!



今年から、様々な規制が解除されることが多くなり、ボランティア活動がより出来るようになってきました！
 このような状況が半年以上続き、私たち学生スタッフで半年を振り返ってみました。
 そうすると、こんな意見が…
 皆さんは現状をどう感じていますか？

直接対面で会えた！

コロナ禍前の大学生活を知らないため戸惑いがある

対面

ギャップ

コロナ慣れ

施設に行けた

ワクチン

嬉しい！

検温

寂しい

マスク

ノーマスク

イベント増

人数制限

規制解除

まだコロナ禍?!
と思うときがある

いろいろな選択が
出来るようになった！

赤アフターコロナ派 青ウィズコロナ派

同じ状況でも、人それぞれ感じ方や考え方が違うことは面白いですね！
 改めて、いろいろな人が混ざり合っ社会ができていることを知りました。
 お互いを尊重して過ごすことが大切なのかもしれません！！

CCCで活動している学生に インタビュー（星が丘キャンパス編）

普段どんなことを考えながら活動をしているのか
皆さんの想いを聞いてみました。

星が丘キャンパス

名前
学部・学年
所属団体orおこなっている活動
↳（活動概要）
キャッチコピー
ボランティアに対する想い



中川流樺

交流文化学部
国際交流・観光専攻 2年

きらきら☆したら
↳（山間地域の活性化）
キャッチコピー：**有言実行ガール**

ボランティアに対する想い

私に「できる」と思ったことを私なりに
やっていきたいです！
設楽町の現状を踏まえ、地域を愛することで
地域の方々が少しでも笑顔になれるように
そして悲しみを和らげられるように
していきたいです！



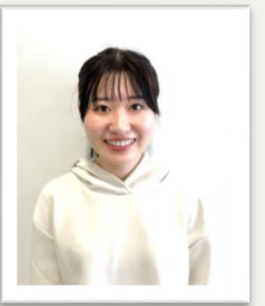
青山富未

交流文化学部
ランゲージ専攻 2年

PASSREL（パスレル）
↳（フードロス・こども食堂）
キャッチコピー：**コツコツ頑張る努力家**

ボランティアに対する想い

団体の仲間と協力してもっとフードロスについて
広めていきたいと思っています。
コロナ禍も落ち着いてきているのでこれからは
参加者を巻き込んだ企画にも挑戦してみたいです！
PASSREL（パスレル）をよろしくお願いします♪



小川采蘭

交流文化学部
国際交流・観光専攻 3年

九番団地の日本語教室
↳（日本語教室）
キャッチコピー：**頼れる先輩**

ボランティアに対する想い

学習者に日本語を楽しく理解してほしいという
想いを持って活動しています。
難しい言葉を理解してもらえたときは
とてもうれしくやりがいを感じます！
歳が近い学習者の方も多く私も楽しく
ボランティアをさせていただいています♪



安藤彩友美

交流文化学部
国際交流・観光専攻 2年

防災関連、Shukutoku cafe
↳（防災啓発活動、多文化交流）
キャッチコピー：**前向きチャレンジ**

ボランティアに対する想い

新しい体験、出会い、気づき…。
ボランティアは他では得られないたくさんの学びと、
それ以上の幸福感をくれます♪
楽しそうなボランティア募集があったら参加してい
ます！

CCCで活動している学生に インタビュー（長久手キャンパス編）

普段どんなことを考えながら活動をしているのか
皆さんの想いを聞いてみました。

長久手キャンパス

名前
学部・学年
所属団体orおこなっている活動
↳（活動概要）
キャッチコピー
ボランティアに対する想い



大山直子

福祉貢献学部 社会福祉専攻 3年

Fsus4(サスフォー)
↳（福祉、訪問演奏）

キャッチコピー：**まっすぐ素直**

ボランティアに対する想い

Fsus4は活動内容として訪問演奏
をしています。演奏の質以上に
社会福祉施設の利用者さんや地域の方との
コミュニケーションを大切にしています。
音楽を一方向的に披露するという形ではなく、
お話ししたり反応をうかがったりしながら
お互いが楽しい空間を共有できるような
演奏会にしたいと思っています。



田中萌瑛

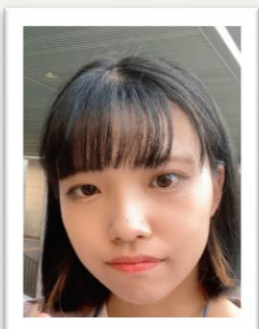
福祉貢献学部 社会福祉専攻 3年

コミュカフェ
↳（福祉、高齢者、多世代交流）

キャッチコピー：**一途な癒し系**

ボランティアに対する想い

私は、社会福祉施設に行かせていただくことが多い
のですがボランティアをするなかで利用者の方が
笑顔になってくださったときや、
嬉しさから涙を流してくださったときに
続けてきてよかったなと思います。
先輩方が築いてくださった「コミュカフェ」の
魅力を活動を通していろいろな方に伝えられたら
と思います。



横井彩夏

心理学部 心理学科 3年

子ども食堂、清掃活動など
キャッチコピー：**まずはやってみる！**

ボランティアに対する想い

自分自身が知らない世界を知ることが
できることはとても素敵なことだと
思い今も活動を続けています！
また、ボランティアを通しての出会いに
感謝しながら楽しく活動をしています。



八杉陽香

人間情報学部 感性工学専攻 1年

こめ☆こめくらぶ、ユニこまPlus+、
↳（環境） ↳（バリアフリー）

長久手の魅力発信、『ボラみみ』の
紙面作成

キャッチコピー：**進取果敢の代名詞**

ボランティアに対する想い

人にはそれぞれ得意不得意なことがあると思います。
私にもあります。チームで協力するとき、私はそれを
補える人になりたいです。そのために様々な分野の
ボランティア活動に取り組むなかで、「これは任せて！」
という何か光る自分の役割を探し伸ばしていきたいです。
これからも「面白そう！やってみたい！」という
気持ちを大切に活動していきます。

さらに様々な質問をしてみました

環境が変化する中でどんな変化があったのか、さらに深掘りしてインタビューをしてみました！

interview



設楽町の方からお話を聞いている様子です！



中川流樺

交流文化学部 国際交流・観光専攻 2年

子ども向けにフードロス講座おこなった際の様子です！



青山富未

交流文化学部 ランゲージ専攻 2年

Q1
活動中の様子を見せてください！



Q2
コロナ禍からわかったことは何ですか？

コロナ禍を経て地域の方との関係性が大切だと感じました。私たちの団体はコロナ禍で縁が途切れてしまい、活動が思うようにいきませんでした。しかし「コロナ禍でも連絡してほしい」と地域の方から声をいただき、再び活動させていただけることになりました。

コロナ禍では飲食を伴う企画ができず、子ども食堂ができませんでした。その代わりにフードロス削減を内容とした講座を開くことになりました。今年に入り、ずっとやりたかった食を扱う企画ができるようになり、豊田市で調理実習ができたときはやっとできたという思いからとてもうれしく思いました。

Q3
地域や企業の方と関わって学んだことは何ですか？

地域の現状を知ることができました。地域の方と直接話すことで地域に対する思いや過疎化していく寂しさを感じました。

地域の方と関わることでフードロスについて知識を広げることができました。また、その地域の現状を自分の目で確かめ知ることができました。

Q4
今後の目標は何ですか？

地域の方の笑顔をもっと見たいので400年以上続く伝統的な「奉納歌舞伎」を大学生の私たちなりに残していきたいです！

飲食を伴う活動ができるようになったので、これからは参加者を巻き込んだ活動もたくさんやっていきたいです！また、大学内で学生が参加できる企画も実施してみたいと思っています。



日本語教室の様子です！

小川采蘭

交流文化学部 国際交流・観光専攻 3年



日本語教室では、口の動きを真似してもらって発音の練習をするので、口の動きが相手に伝わるようにフェイスシールドを使用するなどの対策をしました。口元が見えるか見えないかで、教えやすさにも影響が出てきてしまうのだと感じました。

他のボランティアメンバーと関わる中で教え方の工夫など、学ぶことが多くありました。日本語学習者の方々と信頼関係を構築することが大切だとボランティアを通じて感じました。

日本語学習者の方々の疑問にもっと答えられるようになりたい！



Shukutoku Cafeで地域の方と交流している様子です

安藤彩友美

交流文化学部 国際交流・観光専攻 2年



地域イベントのお手伝いをした際に、「感染症を恐れて来られなくなった人がいる。心配だ。」という声を聞きました。このことから、地域のイベントは市民がつながって助け合う貴重な場所だと学びました。

様々な人と話してみる面白さを感じました。例えば「Shukutoku cafe」（地域の高齢者の方と大学で交流）で高齢の方と話しをした際には、びっくりするような経験談を聞きました。背景の異なる方と話すとき意外な面白さが得られると、日々感じています。

未経験分野のボランティアにもどんどん挑戦して、いろいろな世界を知りたいです！勇気を出して参加すれば確実に得るものがあるということをボランティアを通じて学んだので、今後も様々なボランティアに挑戦してみたいです。



高齢者施設での訪問演奏の様子です！

大山直子

福祉貢献学部 社会福祉専攻 3年



私たち学生が音楽を提供するだけでなく、音楽を通してコミュニケーションを取りたいという「Fsus4」（訪問演奏活動をおこなう団体）の原点に、改めて気づくことができました。

社会に出て様々な経験をされた方々と関わることができ、新しい考えを知ることができました。そして、より感性を豊かにすることができ、世の中で起きていることが自分事に感じられるようになりました。

福祉施設への訪問演奏を大切にし続け、今よりもさらに地域の方々と交流できる機会を作っていきたいと考えています。また、福祉の専門職を目指しているので、学生団体の活動で得た学びを将来につなげていきたいです。



大学周辺の
清掃活動の
様子です！



横井彩夏

心理学部 心理学科 3年



コロナ禍はマスクが必須であったり、参加すること自体にも制限があったりしました。制限が緩和された今、自由度が高くなりボランティアの嬉しさや楽しさがよりわかりました。

人とのつながりが経験につながることを知りました。実際に、ボランティア活動で知り合った方から紹介された活動に通うようになりました。

知らない世界を知ることが好きなので、今後もつながりを活用して様々な事に挑戦していきたいです。

脱穀作業の時の
様子です！



八杉陽香

人間情報学部 感性工学専攻 1年



私が入学したときは、すでに様々なボランティア活動の参加者を募集していました。そのため、活動するなかで「コロナ禍」というものを感じておらず、のびのびと活動できています。

活動を通して、いつも地域の皆さんからやさしい気持ちをいただいています。コミュニケーションを取ること、人の温かさに触れることができ、こんなにも幸せを実感するのだとわかりました。

ボランティア活動を通じ、様々な想いを持っている地域の方々に出会いました。その想いに共感し、一緒に活動したからこそ、地域の方々の想いを多くの方々に伝えられるような存在を目指し、活動していきたいです。

デイサービスで
利用者さんと
作業しました！



田中萌瑛

福祉貢献学部 社会福祉専攻 3年



コロナ禍で飲食を伴う活動が禁止となり、季節に合わせたレクリエーションを自分たちで考えておこなうようになりました。その結果、より会話が弾むことがわかりました。

活動先で出会った方々と対話する中で、「これ楽しいのかな」や「これできるかな」とコミュニケーションを取りながらやりとりすることが大事な視点だと気づきました。この視点は、今後福祉の専門職を目指す自分にとって大きな気づきでした。

いろいろな人が交ざり合って支え合えることが、素敵だと考えています。学生団体の活動を通して、様々な人と関わっていきたくと思っています。また、活動の幅を広げていくことも視野に入れており、今後は多世代で交流する活動にも挑戦してみたいです。

＼今回のコラボ通信は私たちが作成させていただきました！

学生スタッフの紹介

私たちは学生目線でCCCのサポートをしています

星が丘キャンパス

星 ccc_gakusuta



♡ Q✕

交流文化学部2年石川虎南海です。
日進市の子どもたちにフェアトレードについての講座を開いています！
#うどん#ミステリー小説

星 ccc_gakusuta



♡ Q✕

交流文化学部4年中島梨緒です！
もったいないを減らす取り組みをしています(^▽^)
#フラガール #旅行#アフヌン

星 ccc_gakusuta



♡ Q✕

交流文化学部4年山本羽奈です。
外国にルーツをもつ子どもたちに日本語を教えています！
#海外旅行 #Thailand

星 ccc_gakusuta



♡ Q✕

交流文化学部3年後藤あいです。
ベトナムにいる子どもにオンラインで日本語を教えています！
#チョコレート#ネパール

星 ccc_gakusuta



♡ Q✕

交流文化学部2年山崎日菜子です。
外国にルーツをもつ子どもたちに日本語を教えています！
#アミーゴ#韓ドラ#サンドイッチ

長久手キャンパス

長 ccc_gakusuta



♥ Q ✈

福祉貢献学部3年山下珠怜です！
子供たちや高齢の方、障がいがある方たちと
遊びや音楽を通して活動しています！
#Fsus4#らび♡やお#らび・#ネイル

長 ccc_gakusuta



♥ Q ✈

文学部教育学科2年の松原一花です！
CCCでは地域の方とお米作りを通して交流
したり、子どもたちに食の大切さを伝えたり
する活動をしています！
#ウクレシ#ワングル#キャンプ

長 ccc_gakusuta



♥ Q ✈

福祉貢献学部3年吉田瑞希です！
学習支援や遊びなどを通して
「福祉」に関する様々な活動をしています！
#らび♡やお#らび・#キーマカレー

長 ccc_gakusuta



♥ Q ✈

健康医療科学部3年近藤朱莉です！
発達障がいがある子どもたちと交流したり
お米作りを通して食べることの大切さを学
んだりしています！
#みかん #言語聴覚学専攻

学スタが想うCCCの木

愛があふれる
第3の居場所

学スタが想う CCC

「葉」
学生

「飛んでいく葉」
CCCを旅立つ学生

「枝」
地域の方々
企業の方々

「幹・根」
CCCスタッフの
皆さん

編集後記①

コラボ通信を手にとってくださりありがとうございます！
今回、複数の学生からコロナ禍とボランティアについての
考えを聞くことが出来ました。それぞれが様々な場所で活動
しているからこそ、その場所で大切にされていることに違い
があるのだと分かりました。改めて、異なる立場に立ち物事
を考えることの大切さを実感しました。

交流文化学部 国際交流・観光専攻3年 後藤あい

編集後記②

様々な想いが詰まったコロナ禍だったのだなと
改めて思いました！多種多様な人たちと交流する中で新し
い自分に出会えたり、世界が広がったりするはずです！
私たちは、皆さんの「興味がある！やってみたい！」
という気持ちを応援したいと思っています！
ぜひ気軽にCCCを訪れてみてください。

文学部教育学科2年 松原一花

長久手キャンパス
480-1197 愛知県長久手市片平二丁目9
(0561) 62-4111 (代)
Eメール asccc@asu.aasa.ac.jp HP <https://www.aasa.ac.jp/institution/ccc/>
利用時間 平日9:00~18:30 (授業日以外9:00~17:00)

星が丘キャンパス
464-8671 名古屋市千種区桜が丘23
(052) 781-1151 (代)

発行：愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター

地域に根差し、世界に開く